

令和4年度 富士根南地区社会福祉協議会

新任推進委員研修会 次第

日時 2022.6.25 (土) 19:00~

場所 富士根南公民館

司会進行 富士根南地区社会福祉協議会

研修部副部長 高柳洋子

1. 開会あいさつ 富士根南地区社会福祉協議会 会長 佐野英夫

2. 講話 富士根南地区社会福祉協議会 研修部員 小玉忠雄

① 推進委員の役割について (30分)

- ・ 活動範囲
- ・ 加盟団体
- ・ 活動目標
- ・ 活動内容
- ・ 各事業部の具体的な活動内容

- ・ 富士根南地区の今後の福祉課題について
 - <住民アンケート結果から見えてくる福祉生活課題>
 - <社会情勢>
 - <アンケート結果に対応した、新しい地域支援事業について>

② 質疑応答 (20分)

3. アンケート記入 (10分)

4. 閉会あいさつ 富士根南地区社会福祉協議会 企画委員長 木ノ内高嘉

富士根南地区社会福祉協議会推進委員について

富士根南地区社会福祉協議会 研修部

1) 活動エリア

富士根南地区社会福祉協議会（全16区）

↓

小	小	小	小	小	小	上	大	大	大	杉	杉	杉	杉	杉	杉
泉	泉	泉	泉	泉	泉	小	岩	岩	岩	田	田	田	田	田	田
1	2	3	4	5	6	泉	1	2	3	1	2	3	4	5	6
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区

2) 加盟団体と登録人数

<加盟団体名>	<人数>
① 自治会（区長	16
② 民生児童委員、主任児童委員	34
③ 保健委員	20
④ 保護司	1
⑤ 厚生保護女性会	17
⑥ 福祉委員	16
⑦ シニアクラブ	10
⑧ 根南女性連絡協議会	20
⑨ 交通安全協会	4
⑩ スポーツ推進委員	6
⑪ 青少年指導委員	18
⑫ 根ねっ子	12
⑬ おっきい和	8
⑭ 根南ボランティア	43
⑮ 個人	19

計 244 （兼務者がいるので実質は223名）

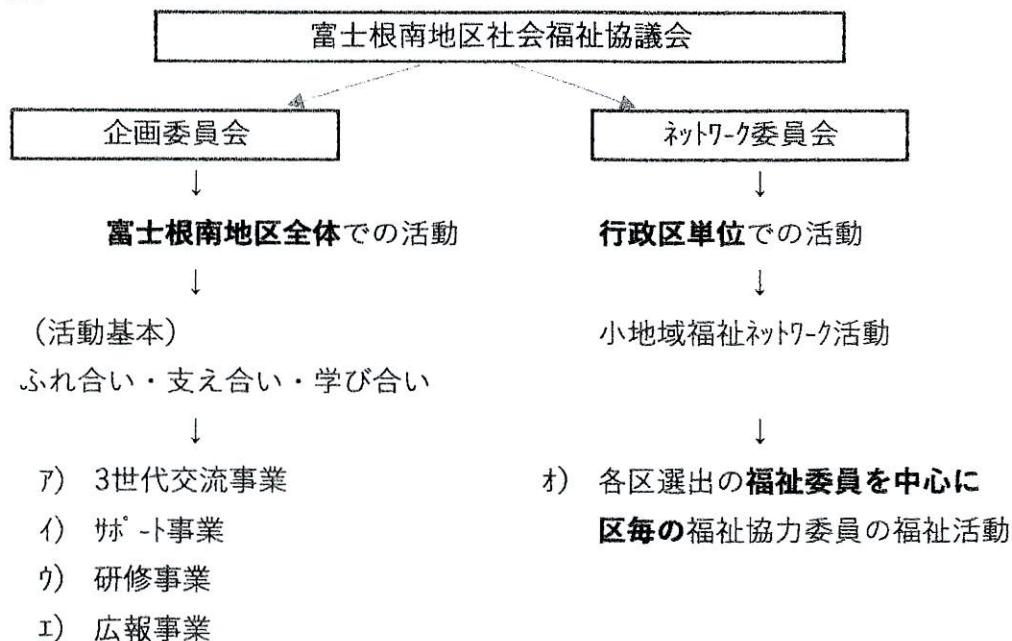
3) 活動目標

人にやさしい福祉のまちづくり。

↓

子供からお年寄りまで、障害のあるなしに関わらず、地域に暮らす誰もが
住み慣れた地域で、お互いに支え合い、安心して暮らせるまちづくり。

4) 活動内容



5) 上記ア～オの事業の具体的な活動内容について

ア) 3世代交流事業 (3世代交流部)

- ・ 3世代ふれあいまつり →

- ・ 南中の吹奏楽、箏の演奏
- ・ 南小4年生の花笠踊り
- ・ 根南女連の紙芝居
- ・ 軽スポーツ
- ・ 健康チェック
- ・ お茶会コーナー等

(参加人数500~600名)



根南小4年生 花笠踊り

イ) 体験事業 (体験部)

- ・ むかしの遊び教室

南小1年生対象 (180名程度)

ボランティアによる昔の遊び教室

- ・ 竹馬
- ・ あやとり
- ・ 竹ぼっくり
- ・ おはじき
- ・ 竹とんぼ
- ・ 紙飛行機
- ・ お手玉
- ・ こま
- ・ ビー玉等



- ・ 富士根南地区史跡巡り

ボランティアガイドさんの説明で
地域の史跡を巡る企画。

(参加者80名程度)



賽の河原の六地藏

ウ) 研修事業 (研修事業部)

- ・ 推進委員対象の研修会
(参加者70名程度)
- ・ 全域住民対象の福祉講演会
(参加者120名程度)
- ・ 希望区向け福祉出前講座
(参加者30名以下)



エ) 広報事業 (広報部)

広報紙 (根南福祉だより) の発行・・・3刊/年

発行部数 8000部/各刊

1行

オ) 小地域福祉事業

- ・ ネットワーク委員会
- ・ 各区単位での見守り活動等
- ・ 見守り活動の見学会
- ・ 介護施設見学会
- ・ 視察研修



カ) 支援事業

下記子育てカンの支援

- ・ 根ねっ子カン
- ・ おっきい和



6) 富士根南地区の今後の福祉課題について

<住民アンケート結果から見えてくる福祉生活課題>

2017年根南地区社協実施結果

(回答者408軒)

① ご近所の方との関わりを望む方	78.30%	
② 完全孤立者は1.6%、日中のみ一人となる方	20%	
③ 介護が必要となった際、自宅中心を希望する方	68%	
④ 日常生活で、他人からの支援希望内容		
・ 病院通い時の付き添い	39.0%	} 63.80%
・ 買物の送迎や付き添い	24.8%	
・ 体調不良時の手助け	28%	
・ 食事の支援	21.6%	
・ 庭木の手入れ	20%	
・ 整理整頓や掃除	14.4%	
・ 洗濯や布団干し	8.8%	

2019年2層協議体実施の根北、根南アンケート結果

(回答者119人)

① 生活支援（サービス）の利用について

<現状>

家族、知人による生活支援者が多い

<課題>

買物や病院への通院等が不便な地域にもかかわらず、路線バス
宮夕等の利用率が少ない

② 通いの場の利用について

<現状>

寄り合い処の参加が少なく、様々な形態の通いの場を分散
利用している。

<課題>

全体的に高齢者の通いの場が少ない。

③ 生活課題について（ふだん困っていること）

<現状>

買物、ゴミ出し、植木の剪定、草取りが大変という回答が多い

<課題>

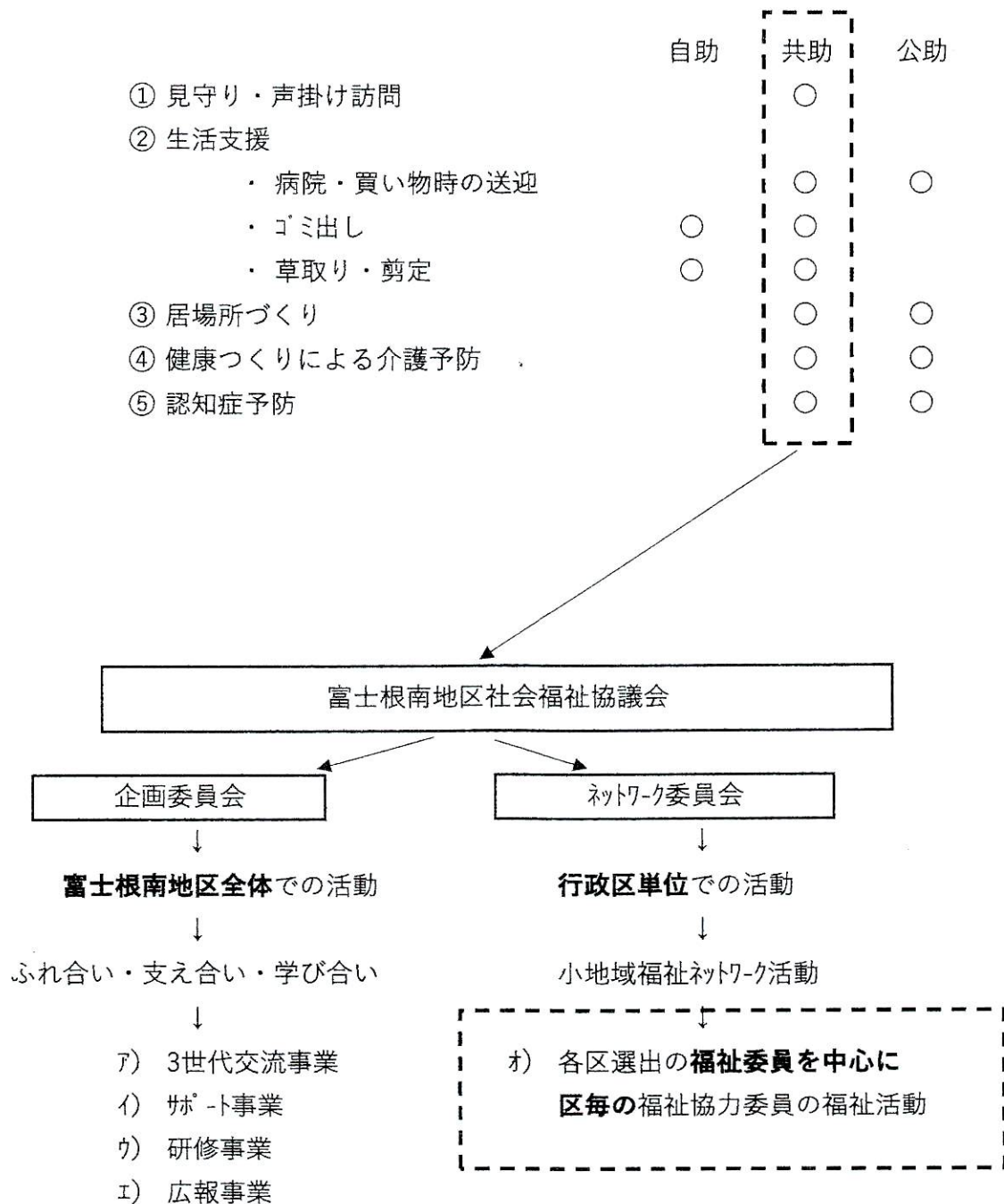
ちょっとした手助けは、知人、隣人に頼めても、買い物、
剪定、草取り等頼みにくく、~~は~~困っている高齢者が多い。

<社会情勢>

- ① 高齢化の促進（団塊世代が75歳になる2025年の高齢化率は30%以上）
- ② 国の医療、介護予算破綻により、介護予防は給付対象外となる

↓

<アンケート結果に対応した、新しい地域支援事業>



「富士根南地区社会福祉協議会」設立趣意とその実現に向けて

I 「地区社会福祉協議会」とは

- 1 地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」）とは、住民の主体的な組織で、富士宮市社会福祉協議会（以下、「市社協」）と同じ性格を有する。したがって、市社協に参画する住民組織であり、密接な関係を持っている組織である。
- 2 自治会を中心に行われているまちづくりは、住民の生活環境を改善し、地域で行われている様々な行事を活発化し、住民どうしの交流を目的にした取組みである。
- 3 地区社協の目指すまちづくりは、福祉課題を抱える人たちを、みんなで支えあいだれもが安心して、ともに暮らせるまちづくり、いわゆる「福祉のまちづくり」をめざす取組みである。

II 「富士根南地区社会福祉協議会」設立趣意

○ 基本方針

「富士根南地区社会福祉協議会」設立趣意書（平成18年7月11日）に、住民のみなさんが住みなれた地域で、安心・安全な福祉にやさしい地域づくりをめざし、以下に定める基本方針を示し、事業の計画策定、並びにその実行に向けて取り組むことを宣言している。

- 1 地域における福祉サービスの適切な利用の推進。
- 2 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達
- 3 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進

III 「実現に向けて」

※富士宮市社会福祉協議会「地域福祉活動計画」

○ 基本目標

基本方針を具体化するためには地域の福祉力を高めなければならない。それには、以下のことを基本目標とした事業の実現に努めなければならない。

- 1 地域福祉の基盤となる住民どうしの交流、つながりを深めるため「ふれあい（相互理解）」を進める。
- 2 福祉を必要とする人たちを住民どうしで「支えあい（相互支援）」を強くする。
- 3 地域に存在する福祉課題・問題について「学びあい（相互学習）」その解決に努める。

○ 事業目標

- 1 福祉について理解を深める。
地域の福祉課題・問題について住民自身が気づき、考え、解決していくことのできる力をつける。また、福祉に関する情報提供の充実を図る。
- 2 ふれあい、支えあう関係づくりを進める。
地域の福祉課題・問題を解決していくため、自治会(区)での地区社協の活動を通して地域並びに住民どうしのつながりをいっそう深め、主体的に地域福祉に取り組むボランティアの育成を図る。また、災害時要援護者支援にたずさわる災害ボランティアとの連携を促進する。
- 3 “一人”の存在を大切にした支援を進める。
地域に暮らす”一人”の存在を大切にする視点に立ち、障害の有無、年齢、性別、国籍の差異にかかわらず、地域で安心して生活できるように努める。